

がまごおりの産業と

わたしたちの未来

市内中学生の「みらいちゃん」と
物知り博士「がませんニン」と一緒に
がまごおりの産業の“いま”と“未来”を考えよう！



がませんニン



みらいちゃん

年

組

氏名

がまごおりの産業



みらいちゃんはがまごおりの産業の特徴について知ってる？

う～ん、そうだな～。みかんとめひかりが有名だよ！そうだ！ロープ産業が盛んでって小学生のときに習ったよ。あとは温泉旅館がたくさんあるね。

そうだね。がまごおりには、第一次産業・第二次産業・第三次産業がバランスよく集まっているんだ。ここでは、がまごおりの産業について深掘りしてみよう。



第1次産業

農業

水産業

がまごおりは海と山に囲まれた温暖な気候で、温室みかん、露地みかんの栽培が盛んです。そのほかにもせとか、はるみ、不知火といった中晩柑も栽培されており、年間を通して、様々な品種のみかんを味わうことができます。また、つまもの、いちご、花きに代表される施設園芸を主体とした農業経営が行われています。

沿岸漁船漁業と浅海養殖業を中心に三河湾・伊勢湾・渥美外海の広大な漁場で古くから水産業が営まれています。なかでも県内に4隻しかない沖合底引き網漁船を全て有するがまごおりは、「深海魚のまち」として有名で、県内の90%以上の深海魚はがまごおりで水揚げされています。また、三河湾のあさりは、絶品と称えられ、愛知県の漁獲量は全国一となっています。

第2次産業

製造業

繊維産業

がまごおりは繊維工業（自動織機）を源流とする自動車部品製造も盛んです。なかでも、鉄工業（※1）は、大正から昭和初期、漁業や繊維工業の発展を支える産業として始まりました。そして、がまごおりは、自動車部品製造業だけでなく、化成品、食料品、眼科用医療機器・眼鏡レンズなどの光学機器、皮膚・ひざ軟骨などの再生医療製品、人工歯、産業用ロボット、工作機械など、多種多様な製造業が立地しています。

※1 鉄工業：精密機器・輸送用機器・一般機械・電気機器・金属製品・鉄鋼業等といった製造業の総称

繊維産業はがまごおりの基幹産業として、市内事業者の約40%を占め、なかでも繊維ロープ製造業は日本一の生産量を誇ります。また、産元（産地間屋）・燃糸・織布・染色整理・縫製などが有機的に連携し、地域内で一貫して生産できる体制を整えた「三河繊維産地」として、長い歴史と伝統を築きあげています。最近では、繊維産業の持続的な発展に向けて、事業者が連携した新たなチャレンジが始まっています。

第3次産業

商業・サービス業

観光

卸売業は、がまごおりで盛んな繊維や鮮魚・水産加工品を扱う事業所が多くあります。小売業・サービス業は、商店街や魅力ある個店が立地し、地域に根付いた商業活動を行っています。商業・サービス業を含めた第3次産業の総生産は、蒲郡市の産業のなかで最も大きい割合を占めます。

がまごおりには19軒の旅館やホテルと4つの温泉地があり、海と山に囲まれた景色はととても眺めがよく、愛知県内でも有数の温泉観光地です。また、国の天然記念物に指定されている「竹島」など、さまざまな観光地・観光施設もあり、観光資源が豊富です。

チョット アイスブレイク??

≡ 農業 ≡

1921年

ジャワ島のかんがい施設
見学で寿市郎^{じゅいちろう}さんは
ひらめいた!

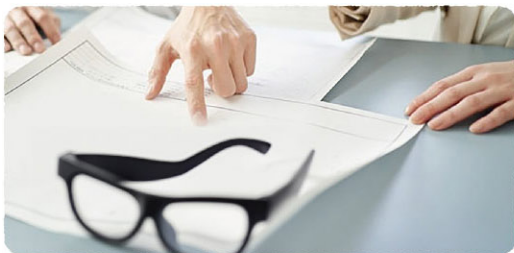


東三河地域の水不足を解消したい政治家の近藤寿市郎さんは、1921年にインドネシアのジャワ島へ単身で出向き、田畑に水を配るための施設を見学しました。その施設に驚き、「この方法なら東三河地域の暮らしを豊かにできるにちがいない!」と考えました。帰国した寿市郎さんは自ら住民に説得し、何度も何度も国へ働きかけた結果、1949年に宇連ダムを皮切りに国営事業として豊川用水の建設工事が始まりました。1963年には蒲郡市内にも豊川用水が流れるようになったことで、農業が飛躍的に発達しました。

≡ その他製造業 ≡

1945年

奇跡的に大空襲を
免れた研究者たちの挑戦!



東三河地域には眼科用医療機器や眼鏡レンズの製造などの光学産業が集積しています。これは、奇跡的に空襲を免れた豊川海軍工廠光学部（光学研究の最先端機関）の優秀な研究者や技術者たちが、光学産業の将来性を感じ、この地に残って挑戦し続けた努力の結晶ともいえます。

≡ 繊維工業 ≡

799年

漂着した
こんろんじんの恩返し



799年、小舟によって三河国幡豆郡天竺村（今の愛知県西尾市）に漂着した「こんろん人（今のインド人）」から、綿の種子と耕作の方法を教わったことがルーツとされています。また、「日本後記（天皇・上皇の命により編さんされた歴史書）」によると、平安時代初期には三河地域で布が織られていたと記されています。

≡ 観光 ≡

1950年

補陀ヶ池で温泉が
湧き出した!



がまごおり温泉郷のルーツは、奈良時代までさかのぼり、仏教僧・行基によって発見された三谷温泉は愛知県でも有数の古湯です。蒲郡市が観光温泉地として発展してきたのは、1950年に形原町にある補陀ヶ池の工事中に温泉が湧き出したことがきっかけです。その後、西浦町や三谷町でも源泉が発見されました。高度経済成長期（1955年から）には、観光バスで団体客がたくさん訪れるようになり、1958年には三河湾一帯が三河湾国定公園に指定されるなど、温泉観光地としてさらなる価値を磨いてきました。

みんながまごおりの
産業のエピソードを
調べてみよう!



※紹介したエピソードには諸説があります

産業に関わるキーワード

この間、ニュースを見ていたら、「現代はブーカの時代だ！」って言っていたよ？ブーカってなんだろう？



VUCA (ブーカ) とは、Volatility (変動性)・Uncertainty (不確実性)・Complexity (複雑性)・Ambiguity (曖昧性) の頭文字を並べた言葉で、わかりやすく言うと、「社会環境がどんどん変化して、未来の予測が難しい状態」のことをいうよ。今の産業界は様々な社会環境の変化に対応していくことがとても重要なんだ。ほかにも注目されているキーワードについて調べてみよう。



Keyword

人口減少・少子高齢化

少子高齢化とは、「出生率の低下で子どもの数が減り、かつ平均寿命が延びたことで高齢者の寿命が延びて高齢者が増えている状態」を指します。蒲郡市も例外ではなく、令和2年から令和12年にかけて約5,000人も減少すると予測されています。

Challenge!
調べてみよう!

蒲郡市「まち・ひと・しごと創生総合戦略」



Keyword

地域経済循環

市内事業者が成長し地域住民の所得が向上するためには、地域の稼ぐ力を伸ばしながら、地域外から獲得した資金を地域内でできるだけ循環させることが大切です。

Challenge!
調べてみよう!

環境省「地域経済循環分析」



Keyword

カーボンニュートラル

カーボンニュートラルとは、CO₂やメタンガスといった温室効果ガスの排出を全体としてゼロとすることです。排出せざるをえなかった分については同じ量を「吸収」または「除去」することで、差し引きゼロを目指します。蒲郡市では「2050年ゼロカーボンシティ」を宣言し、経済と環境の両立を目指しています。

Challenge!
調べてみよう!

蒲郡市「ゼロカーボンシティ」



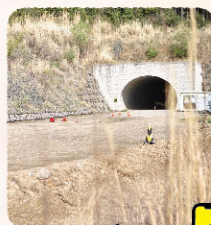
Keyword

DX (デジタルトランスフォーメーション)

デジタルトランスフォーメーションとは、デジタル技術を活用して、わたしたちの生活・働き方やビジネスをより良いものに変えていくことです。

Challenge!
調べてみよう!

経済産業省「未来の教室」



Keyword

国道23号蒲郡バイパスの開通

令和6年度に全線開通予定の国道23号名豊道路蒲郡バイパスは、人やモノの流れがよくなることで新たな雇用が創出されるほか、蒲郡市内の渋滞が減り交通安全の確保も期待されています。

Challenge!
調べてみよう!

名四国道事務所「蒲郡バイパス」



Keyword

サーキュラーエコノミー

サーキュラーエコノミーとは、モノが循環することで廃棄物を出さない経済システムのことです。蒲郡市では「サーキュラーシティ蒲郡」を表明し、「観光」「ものづくり」など7つの重点分野を設定して様々な取り組みを始めています。

Challenge!
調べてみよう!

蒲郡市「サーキュラーシティ蒲郡」

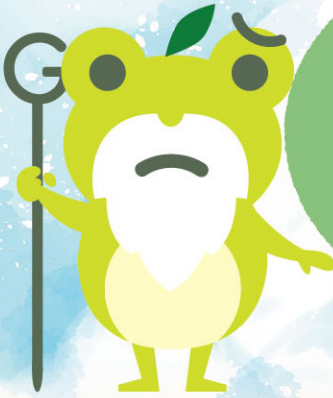


きみはどの取り組みに興味があるかな。用語の意味や内容を調べよう。



市内事業者の課題

市内の事業者は、
どんな課題を
抱えているの？



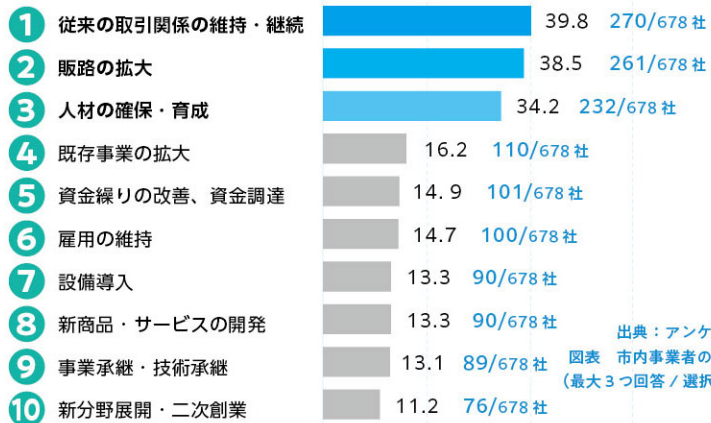
一般的には、働く人の減少や後継者問題、
環境に配慮した経営方法、近年では感染症
や価格高騰による売上減少が課題となっ
ているね。

ここでは、アンケートしてわかった市内事
業者の課題についてみてみよう。

市内事業者のみなさんが経営 するうえで課題と考えていること **トップ10!!**

第1位 「従来の取引関係の維持・継続」 第2位 「販路の拡大」

市内事業者の多くは、新型コロナ
ウイルス感染症感染拡大やウクラ
イナ侵攻の影響によって、以前と
同じように事業活動を行うことが
難しくなっています。それは原材
料の不足、物価上昇、受注の減少
などが原因です。また、経営を維
持していくための売上アップをは
かるために販路拡大も重要な課題
だと捉えられています。



出典：アンケート調査
図表 市内事業者の経営課題
(最大3つ回答/選択肢数16)

N=678

第3位 「人材の確保・育成」

蒲郡市では、農業・水産業（第1次産業）や観光業・商業・サービス業（第3次産業）などで労働者数が減少しています。また、令和2年から令和12年までに生産年齢人口(15～64歳)の3,000人が減少すると予測されており、特に若い女性の市外流出が目立ちます。市内にいるんな人が働ける職業や、生活に合った働き方ができる職場を増やし、まちの将来を担う子どもたちに魅力のある働く場をつくっていくことが大切です。

聞き取り調査の結果

事業者の悩みや考えについて、市内事業者や
経済団体のみなさんに聞き取り調査を行いました。

ほかの業種との
交流を
増やしたい

後継者がいない

地元で生産したものを
もっと食べてほしい

まちなかを
賑やかに

会社を大きくしたいけど、
工場を建てる場所がない

国内外からもっと
観光に来てほしい

海で魚がとれない
魚を食べなくなっている

蒲郡市の事業者が
抱える課題は
たくさんあるんだね。





産業をとりまく環境の変化や、事業者がなやみを抱えていることは分かったけど、わたしたちの生活やわたしたちの将来に何か影響はあるの？

蒲郡市の産業はみんなの生活と大きく関係しているんだ。ここでは、みんなの生活や将来への影響をみてみよう。



人口の減少

地域経済が停滞してしまうと、働く場を求めて人々が出ていってしまいます。特に、働く年齢の人たちが出ていってしまうことで、様々な問題につながります。

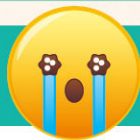
- ▶ 小売店や飲食店、生活関連サービスが縮小し、生活が不便になる
- ▶ 鉄道や路線バスなどが縮小し、移動が不便になる
- ▶ 高齢者を介護する人がいなくなる



行政サービスの低下

地域経済が停滞してしまうと、事業者や働く人たちが負担してくれている税金が減ってしまいます。わたしたちの日常生活の様々な場面で税金が使われることで、わたしたちは豊かに暮らすことができず、

- ▶ 治安が悪くなったり、災害の危険が高くなって安心して暮らせなくなる
- ▶ 水道やごみ処理、学校や図書館などの運営が難しくなる
- ▶ 出産・育児や福祉のサービスが受けられなくなる



働く場の減少

事業者は、商品やサービスを販売する相手の多い地域で事業を行うことが多いです。地域経済が停滞してしまうと、魅力のある事業者が市外に出ていたり、新しい事業が生まれにくくなってしまいます。

- ▶ 将来わたしたちが働く場が減り、魅力のある会社を選べなくなる
- ▶ 事業者が減ることで観光客が減ってしまう
- ▶ 活気のない街になってしまう

がまごおりの産業が停滞すると、わたしたちの生活にも大きな影響があるんだね。じゃあ、どうしたら、がまごおりの産業が成長できるのかなあ？



がまごおりの“未来”



がまごおりの産業の成長には、事業者のがんばりが欠かせないんだ。だから、行政だけでなく、経済団体や金融機関など地域経済に関わるひとたちは、それぞれの立場で事業者を応援しているよ。

そして、「もしも、地域経済に関わるひとたちがひとつになって応援できたら、もっとがまごおりの産業を成長させることができる！」

そんな想いで、わたしたちのまちと生活がもっと豊かになるように、みんなの取り組むべきことを整理したものが、

蒲郡市産業振興ビジョン だ!!



このビジョンには、産業を活性化させることで、みんなで目指す10年後の将来像を次のように設定しているよ。

将来像

新しい価値を生み出す人材が つながり 着実に成長するまち がまごおり

この将来像を達成するために3つの基本戦略と具体的な取組みを示しました。

基本戦略

01

柔軟性の強化 (レジリエンス)

事業者の経営を強化するため、デジタル技術を取り入れるなど、大きく変わる社会経済の変化にあった事業を応援します。また、市内企業で働く人材を見つけ、育て、新たに働く人が生まれる環境をつくるなど、事業者が将来にわたって事業を続けることを応援します。

例

緊急経済対策、デジタル化の普及、次世代人材の育成、働く場の確保など



事業者がずっと事業を続けられる環境をつくる戦略なんだね。

基本戦略

02

挑戦への支援 (チャレンジ)

がまごおりの産業がもっと成長するために、「新鮮で安全安心なおいしいものを提供したい!」「もっといい製品・サービスをつくりたい!」「従業員の給料をあげたい!」とがんばる事業者の挑戦を応援します。

例

生産性向上や販路拡大への取組み、地域産業活性化の推進、カーボンニュートラルの推進など



新しいことに挑戦する事業者を応援する戦略なんだね。

基本戦略

03

連携の推進 (コラボレーション)

今までにない新しい価値を生み出すために、異なる産業や知識、能力、技術を持つ個人や集団がお互いの強みを活かしながら協力していくことを推進します。

例

観光と第一次産業の連携や産学官連携の推進、サーキュラーエコノミー普及の推進など



いろいろな連携を応援する戦略なんだね。

蒲郡市産業振興
ビジョン(本編)はこちら



わたしたちにできること

「蒲郡市産業振興ビジョン」の
将来像を達成するために、
わたしたちにできることは
何かあるの？



このビジョンは、蒲郡市産業振興基本条例
にもとづいてつくられているんだ。その条
例では、市民の役割として「がまごおりの
産業がこれからも成長し続けることで、わ
たしたちのまちと生活がもっと豊かになる
ということを理解し、協力してほしい」と
定めているんだ。
わたしたちに何ができるのか、いっしょに
考えてみよう！

例：がまごおりの会社について調べてみる

例：がまごおりの魅力をいろいろな人に伝える

例：なるべくがまごおりで生産されたものを食べる

①

②

③

がまごおりの未来の
ために、できるとこ
ろからチャレンジし
てみよう。



蒲郡市産業振興部産業政策課

〒443-8601 愛知県蒲郡市旭町17番1号

TEL：0533-66-1211 FAX：0533-66-1188

E-mail：sangyo@city.gamagori.lg.jp

令和5年6月